

総合型地域スポーツクラブを核とした活力ある地域づくり推進事業実践事例

都道府県名 栃木県 受託団体名 栃木県教育委員会(とちぎ広域スポーツセンター)

実践テーマ 子どものスポーツ活動の充実

～スポーツ好きな子どもを育成するための地域と学校が連携した取り組み～

【テーマ設定の理由】

子どもの体力低下に歯止めをかけるために、総合型クラブを中心に学校と地域が連携し、子どもたちが仲間と一緒にレベルに応じた様々なスポーツを楽しめる環境を提供することで、スポーツ好きの子どもを育成し体力の低下傾向に歯止めをかける。

実践クラブ評価委員会

藤井和彦(白鷗大学准教授)

中村 伸(栃木県体育協会生涯スポーツ課長)

枝 俊男(栃木県レクリエーション協会常任理事)

手塚 俊美(栃木県体育指導委員協議会副会長)

小島 靖宏(栃木県小学校教育研究会体育部会長)

課題解決のために連携をとった機関・団体

■宇都宮大学

■宇都宮市立泉が丘小学校

■河内教育事務所

■宇都宮市立今泉小学校

■宇都宮市教育委員会

■宇都宮市立泉が丘中学校

■宇都宮市小学校長会

■宇都宮市PTA連合会

【上記機関・団体と連携をとった効果】

地域の小学生及び地域住民に啓発リーフレットを配布し、地域住民をはじめとした子どもや保護者に対し、子どもの体力の低下への問題提起やクラブの実践する事業を紹介することで、子どものスポーツに対する意識の高揚が図られた。

実践クラブ名 友遊いずみクラブ

【クラブ概要】

・設立年月日 平成 16 年 4 月 16 日 設立

・クラブ所在地 〒320-9952栃木県宇都宮市泉が丘7-1-14

・クラブの特色 地域住民が次世代を担う子どもの育成や地域住民が週1回は健康づくりに親しむことを目標とし、質の高い指導者によるニーズに合った指導、文化的活動を実施。「健康(Health)」を理念に、地域密着度の高いクラブを目指す。

・クラブマネジャーの活動状況 非常勤(月額100,000円)

・会員数(H20.7.1現在) 1365 人 ・定期活動種目数 32 種目

・会費の種類と金額 ●大人4,800円/年
●子ども2,400円/年
●親子10,000円/年

・平成20年度総予算額 9,484,000 円

実践プロジェクト① 小学生スポーツスクール

◆プロジェクトのねらい

地域で普段からスポーツに親しんでいない小学生を含めた多くの子どもたちが、毎日何らかのスポーツに触れ合うことにより、スポーツ好きの子どもの育成と体力の向上を図る。

◆実施概要

回数：5月～1月（月曜～土曜の週6回）

種目：バドミントン、ソフトバレー、レク・ゲーム、フットサル、ソフトテニス、ミニバスケット

指導者：地域の指導者

内容：勝ち負けにはこだわらず、競技性を求めない。

◆参加者数 延べ8,727名（実施回数：184回）

◆活動の様子



◆評価

約10ヶ月間で184回実施され、継続的に子どもたちにスポーツをが提供できた。地元小学生の参加率は約43%に達し、また、参加した子どもの約85%が「体を動かす時間が増えた」と回答した。子どもたちのスポーツの「場」として十分に機能し、定着した。

実践プロジェクト② 研修会

◆プロジェクトのねらい

指導者や保護者をはじめ地域の住民を対象に、研修会を実施することにより、外遊びやスポーツに対する意識の高揚を促すとともに、緊急時の適切な対応等を習得する。

◆実施概要

日時：7月4日（金）19：30～21：00

講師：鈴木 智（救急救命士）

内容：子どもと大人の違い、感染症、熱中症の予防、救急措置（出血、脱臼・捻挫、骨折など）、AEDの取扱い

◆参加者数 28人（保護者、指導者、地域住民）

◆活動の様子



◆評価

子どもと大人の体の構造の違いや、子どものスポーツ活動のなかで起こりうる、事故等に関しての内容であり、参加者には好評であった。広報が時間等の問題で十分では無く、参加者が少なかったことが残念であった。

実践プロジェクト③ 交流大会

◆プロジェクトのねらい

小学生保護者など地域住民を対象に、交流大会を行うことで、多世代の交流を促し、地域住民の子どもたちへの関心を高める。また、この事業への理解を深めてもらう。

◆実施概要

日時：第1回5月26日9:00～12:00、第2回9月27日9:00～12:00

対象：第1回：小学校高学年の児童と保護者、第2回：小学校低学年の児童と保護者 他地域住民

内容：第1回：長縄跳び大会、飯ごう炊飯、第2回：レクレーション、飯ごう炊飯

◆参加者数 延べ255名（第1回122名、第2回133名）

◆活動の様子



◆評価

子どもたちは、保護者をはじめとした地域の大人と交流することができた。むしろ参加した大人の方が楽しんでいただいていたようである。互いに有意義な時間が持てた。

実践プロジェクト④ 体カテスト

◆プロジェクトのねらい

子どもたちの体力の現状把握と本事業による効果を検証とともに、子どもたちの体力に関する意識の高揚を喚起する。

◆実施概要

日時：第1回6月11日（水）17:00～18:00、第2回12月10日（水）16:30～17:30

内容：三段かえる跳び、メディシンボール投げ、ジグザグタッチ走

◆参加者数 延べ106名（第1回53名、第2回53名）

◆活動の様子



◆評価

既存の体カテストとの類似を避け、「走」「跳」「投」のオリジナル種目で実施した。子どもたちは大変興味を示し積極的に参加していた。

自由参加にしたことで、参加者数が少なく残念であったが、実施種目は子どもにとって興味深いもので今後も継続することで、意識の高揚につなげていきたい。

その他の取組

- ◆ 啓発リーフレットの作成・配布
- ◆ 小学生スポーツスクール啓発チラシの作成・配布

本事業の成果

地域の子どもたちのスポーツ環境が継続的に生産され提供され続けられ、地域の新たなスポーツの「場」として十分に機能し、定着してきた。

また、子どもたちの総合満足度は高く、ルールなど「運動の行い方を学ぶ」、「技能の上達」といった成果も認識されるなど、子どもたちの満足につながる「場」となっていた。

2度実施された交流会では、保護者をはじめ地域のボランティアや指導者と、子どもたちとの交流が図られ、アンケート調査でも保護者のスポーツや地域社会に対する意識の高揚が見られた。

本事業の課題と今後の取組

「種目参加率の偏り」と「単一種目のみの参加者の割合が多いこと」「指導者不足や参加者数に対する施設の限界」「指導者間の温度差」「保護者のクラブに対する積極的な関わり方」「施設などのハード面のみならずソフト面での学校との連携強化」などの、課題があげられる。

今後の取り組みとしては、「指導者連絡会議の開催や講演会の実施」「学校との連絡会議の開催」「地域住民との交流イベントの開催」「子どもたちのニーズに合った種目の見直し」など、学校と地域、クラブ間の連携を図ることで、子どものスポーツ環境の向上と地域の活性化を目指していく。

(本件問合せ先:とちぎ広域スポーツセンター:028-623-3416)